

1 高等部の生徒数（R 7. 4 現在）

学年別生徒数

	1 年	2 年	3 年	合 計
男 子	23	25	27	75
女 子	8	7	17	32
生徒数	31	32	44	107
学級数	3	3	4	10

2 高等部目標

将来の生き方や働き方について考え、選択し、自立する人を育てる。

3 教育課程

(1) 週日課

高等部 週日課						
		月	火	水	木	金
		登 校（着替え・係の仕事）				
1	8:40	特別活動（SHR）				
	8:55	保健体育(トレーニング)				
	9:20					
		移動 10分				
2	9:30	国語・数学	作業学習			国語・数学
	10:20					
	移動 10分	職業／生単 総合／家庭				移動 10分
3	10:30					
	11:20					
4	12:10					
		日常生活の指導（着替え、給食準備）				
	12:40	給 食				
	13:00	昼 休 み				
5	13:25	自立活動/道徳	体育	日生（清掃）	特別活動（委員会）	選択教科 （音楽/美術/情報）
	13:55			特別活動（SHR）	特別活動（SHR）	
	14:15					
6	14:15	日常生活の指導（清掃・着替え）		下校 14:15		日常生活の指導 （清掃・着替え）
	14:35			部活動		
		15:00	特別活動（SHR）		特別活動（SHR）	
		下校 15:00			下校 15:00	
		部活動				

(2) 作業学習

作業学習を教育課程の中心に据えて、将来働くために必要な意欲、知識、技能、態度を育みます。

・作業学習・・・木工 陶芸 手工芸 農耕 クリーンハート(メンテナンス・メディア)

(3) 職業自立を目指す教育（産業現場等における実習）

卒業後の生活を体験し、自分の進路を選び、決定する場として進路指導の中核をなす学習

【目 的】

○産業現場等において共に働き生活することで、職場やそこで働く人たちの様子（仕事ぶりや

- 生活)を実感し、働く意味や働く生活のあり方を体験から考えることができる。
- これまでの学習の成果を発揮して、任された仕事に根気強く取り組むことができる。
- 社会人として望まれる規律ある行動や対人関係のあり方など、これまで学んだことを生かして、それぞれの実習先に合った社会生活を送ることができる。
- 将来の生活に向けて、現段階での自分を知り、課題を明らかにすることができる。
- 交通安全に十分気を配り、事故無く確実に通勤することができる。

【実習時期】

学 年	時 期	期 間
1 年	11 月	5 日間
2 年	6 月 10 月	10 日間
3 年	6 月 10 月	15 日間

(4) 主な行事

社会見学 修学旅行 体育交流会 作業製品販売、中田島砂丘清掃

(5) 部活動＜希望者＞

- ① サッカー部 陸上部 バスケットボール部 音楽部 美術部
- ② 活動日は、月、木曜日の放課後

(6) 交流及び共同学習

- ③ 浜松江之島高校との交流（演奏会）

【学校公開等】

- (1) 南行政センター製品販売会 7 月、1 月(予定)
- (2) 作業製品販売会 検討中

※日時が決まり次第、学校 HP、Instagram にてお知らせします。

4 卒業生進路状況(R 7. 4 現在)

卒業年度	R 3	R 4	R 5	R 6	合 計
一般企業	11	12	13	10	46
就労継続支援 A 型事業所	1	5	2	1	9
就労継続支援 B 型事業所	9	7	10	9	35
就労移行支援事業所	12	8	3	4	27
生活介護事業所	13	15	11	4	43
職業訓練校など	0	0	0	0	0
その他	6	2	1	1	10
卒業生徒数	52	49	40	29	170

< R 6 年度 主な企業就労先 >

(有)共同レース (株)ホトアグリ (株)ヤマハアイワークス
 (株)スズキ・サポート 共和サポートアンドサービス(株)
 ネットヨタ静岡(株) (株)ヤタロー N T T アノードエナジー(株)